

7月12日未明から昼前にかけて熊本地方、阿蘇地方を中心に記録的な大雨。「これまでに経験したことのないような大雨」となった。

阿蘇外輪山内に集中的な豪雨、観測史上最大の雨量を更新。

平成24年7月12日未明から昼前にかけて、梅雨前線に向かって発達した雨雲が次々と流れ込み、熊本県熊本地方・阿蘇地方・芦北地方・球磨地方では雷を伴った猛烈な雨となりました。

阿蘇市では、1時間あたり100mm前後の雨が4時間継続するなど、12日0時から9時までに492.5mm(阿蘇乙姫)*を観測する記録的な豪雨となり、気象庁はこの大雨を、「これまでに経験したことのないような大雨」という表現で発表しました。

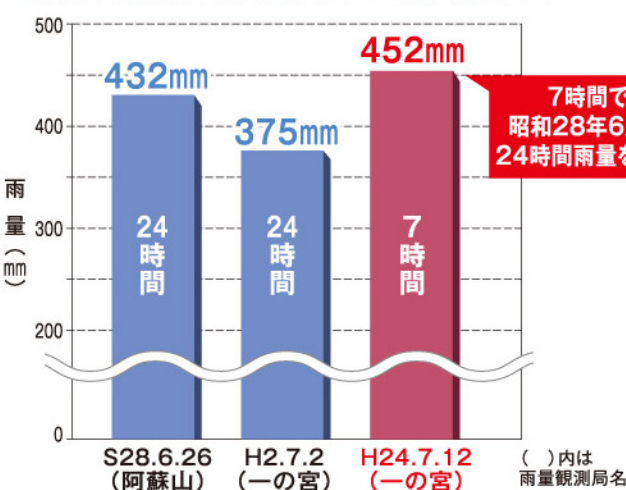
*阿蘇市ではわずか9時間で7月の月降水量平均値の8割を超える大雨となりました。

■観測史上1位の雨量を記録した雨量観測局

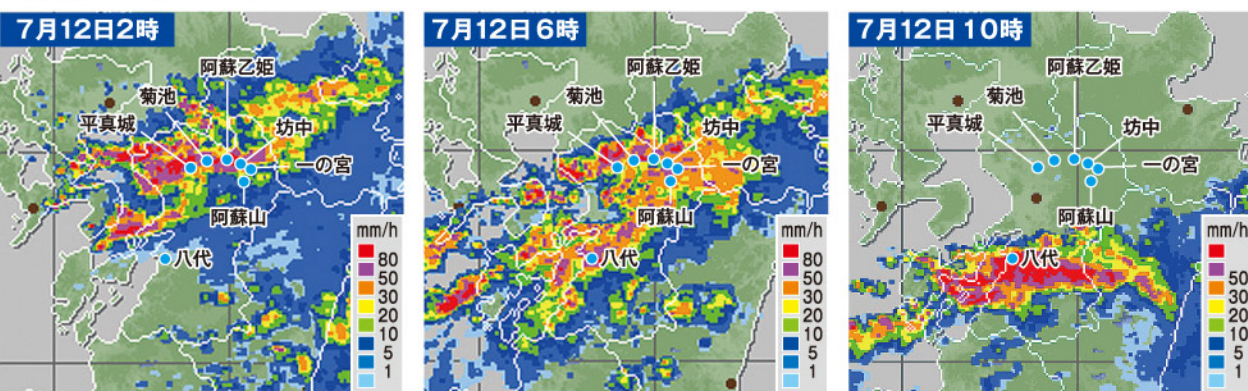
1時間雨量		
阿蘇乙姫	108mm	7月12日 4:53~5:53
阿蘇山	94.5mm	7月12日 5:39~6:39
坊中	124mm	7月12日 5:00~6:00
平真城	98mm	7月12日 3:00~4:00

3時間雨量		
阿蘇乙姫	288.5mm	7月12日 2:00~5:00
八代	150mm	7月12日 7:00~10:00
菊池	181.5mm	7月12日 0:10~3:10
坊中	315mm	7月12日 3:00~6:00
平真城	263mm	7月12日 2:00~5:00

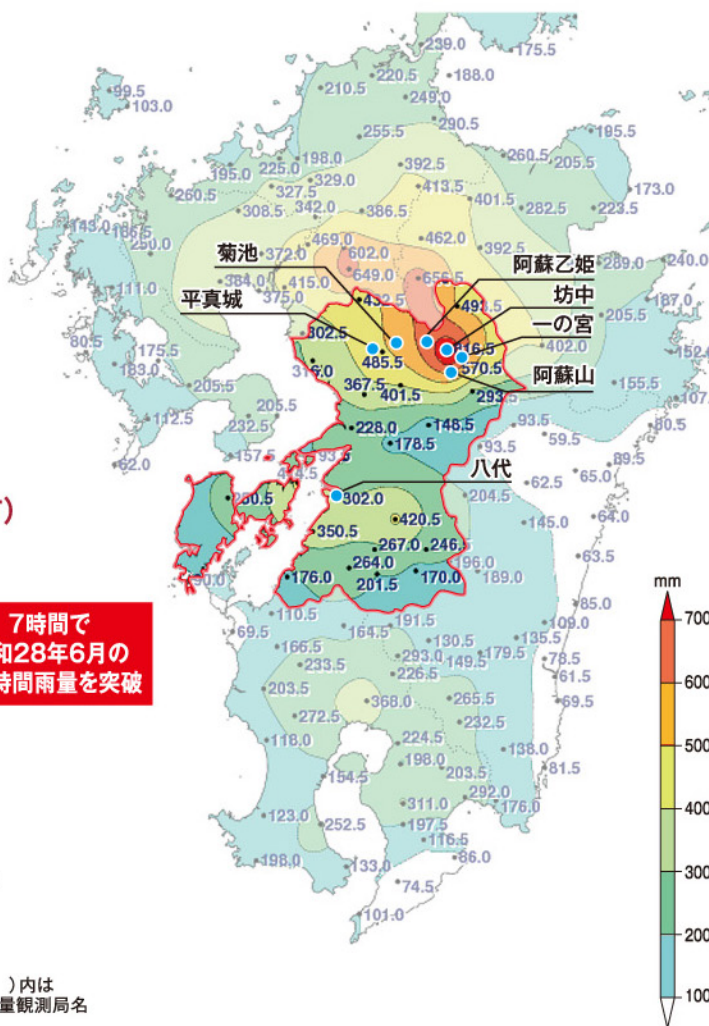
■過去の著名水害の雨量との比較(阿蘇市)



■気象レーダー画像



■総降水量分布図(7月11日00時~14日24時)



雨量の増加に伴い、河川水位が上昇。7月12日10時30分には、白川(代継橋)で観測史上最高水位6.32mを記録。

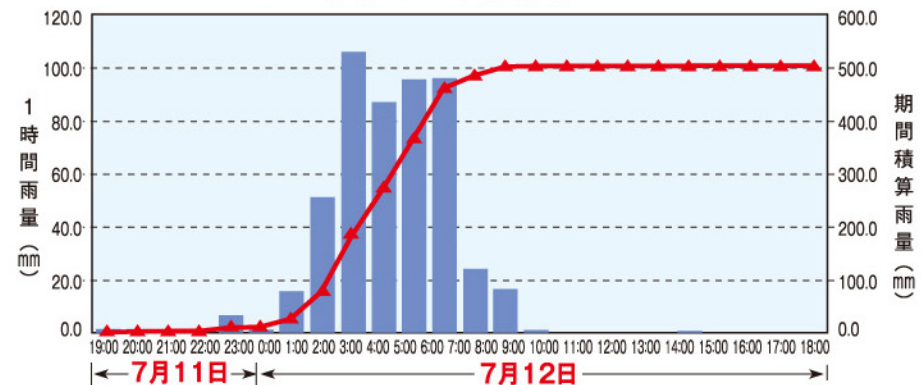
特に、白川水系の流域面積の約8割を占める阿蘇カルデラ内においては、7月12日未明より、短時間に記録的な大雨となりました。

この豪雨により、阿蘇カルデラ内を流れる白川水系黒川や下流の熊本市街地を流れる白川では、河川の水位が大きく上昇しました。

■位置図



■アメダス降水量の時系列図(阿蘇乙姫)

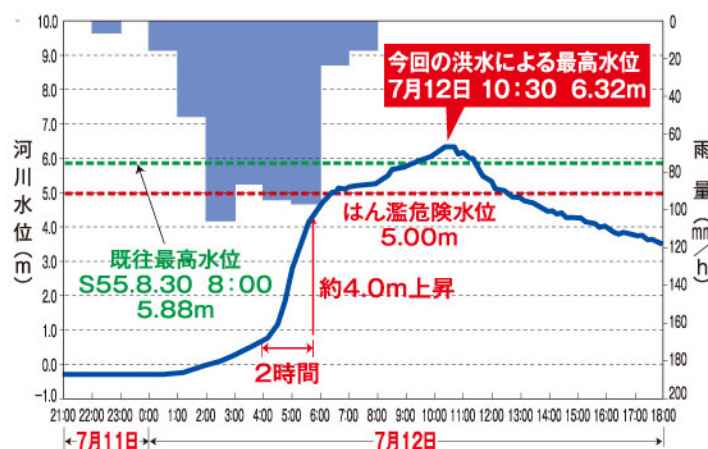


■白川水系流域内の24時間雨量分布(7月11日11時~12日10時)



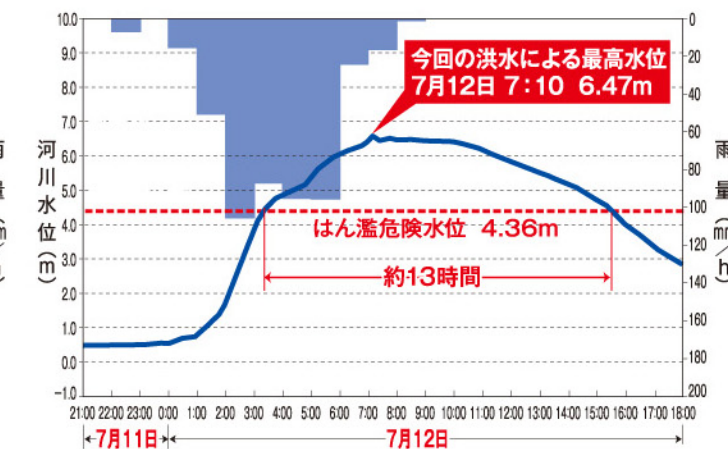
■白川水系白川の水位(雨量:阿蘇乙姫-水位:代継橋)

下流の熊本市を流れる白川では、2時間で約4m水位が上昇。10時30分に観測史上最高水位を記録。



■白川水系黒川の水位(雨量:阿蘇乙姫-水位:黒川)

上流の阿蘇市を流れる黒川では、13時間にわたり、氾濫危険水位を超過。7時10分に最高水位を記録。



*上記資料は気象台提供資料を一部加工したものです。